

「日本の人口増を実現するための根本的な方法」

人口を増やすために、「親1人子1人でいいじゃん」といいたい。みなさん、今の日本は子育てにお金がかかるし、世間の目があるために、結婚をして、子供を作ってっていう順序にこだわりすぎていませんか？だから、子供が増えないのです。父親1人（あるいは母親1人）で子どもを育てやすい環境にすべきだと思いませんか？これは、結婚して、子供を作って、その後、離婚した人達だけでなく、元々結婚しなくて子供を作った人も含めてです。その為には、あさ7時から夜7時位まで（一部夜間働く親にはその時間帯）は、子供を預かる施設と、その費用、教育費を基本的に無料にしたい。「1人の親」は、働かないと自分と子供の生活が送れません。思う存分働くためには社会で子供の面倒を見る仕組みが必要です。私は、生まれた時から小学校までも義務教育とし、今の小中学校と同じ位置づけにすべきだと思っています。さらに、高校以降の教育費も無料にすべきです。これと、前回述べたベーシックインカムで子供1人当たり1月7万円くらいの収入があれば、親1人でも安心して子育てができます。その財源は、私が以前に提案した県を無くし、大きな市と国の2段階、さらに、立法行政府として役所を垂直的、水平的に簡素化し、役人の数、組織維持費を減らすことにより捻出します。もちろん、今まで通り結婚し、父親母親の2人で子どもを育てる家庭も今まで通りですし、上記のシステムと同じ恩恵を受けます。

さて、こう考えると、今まであった婚外子、婚姻子によって、法律上、習慣上、意識上の様々な差別をなくすために、戸籍制度も見直さなくてはなりません。人間は、出自ではなく、各個人の個性、能力により評価されるべきです。その為には、今までのような本籍、両親、系譜を記載したものは廃止し、国民ナンバー制度にて管理するシステムの徹底が必要です。

以上、親1人子1人の世帯が住みやすい日本を作ると、必ず人口が増えます。すでにフランスで実証されています。人口は国の繁栄の礎です。これは政治で一番大事なテーマとも考えます。そして何よりも、日本の家族を基本とした価値観を、個人を中心とした価値観に変え、個人の個性能力を存分に発揮できる世の中にしたい。

私はあわら市の人口を増やすために個別の提案を今までしてきました（詳しくは加納病院のホームページの「あわら市改造計画」、「院長 facebook より」を見て下さい）。しかし、日本全体の人口を増やすための根本的な方法として、上記のような、「1人親」でも生活が可能となる子供の教育、預かり、国民ナンバー制度等について提案します。日本に生まれたすべての人に夢多き人生を。